

令和4年度 医療事故等行為別件数及び障害区分レベル4・5の概要

(1) 医療事故等 行為別件数

行為別	レベル	インシデント			
		0	1	2	計
薬剤		94	406	34	534
輸血		105	14	1	120
治療・処置		16	40	24	80
医療機器等		16	16	2	34
ドレーンチューブ		3	49	44	96
検査		60	141	85	286
療養上の世話		67	504	246	817
その他		101	114	3	218
計		462	1284	439	2185

アクシデント			
3	4	5	計
2	0	0	2
0	0	0	0
3	0	0	3
1	0	0	1
4	0	0	4
0	0	0	0
15	0	1	16
0	0	0	0
25	0	1	26

合計 2211

障害区分(レベル)	内 容	
インシデント	レベル0	事故が起こる前に気がついた場合
	レベル1	事故が起こったが、影響がなかった場合
	レベル2	事故により、軽微な処置・治療(消毒、湿布、鎮痛剤投与など)を要した場合
アクシデント	レベル3	事故により、処置・治療を要したが、永続的な障害が残らなかった場合
	レベル4	事故により、永続的な障害が残った場合
	レベル5	事故による死亡

(2) 医療事故 障害区分レベル4・5の概要

NO.	レベル	事例の概要および対応	
1	5	概要	転倒による外傷性くも膜下出血発症 治療関連骨髄異形成症候群にて化学療法治療中、転倒により外傷性くも膜下出血を発症した。呼吸状態が不安定となり、挿管人工呼吸器管理となり、血小板の補充と降圧、鎮痛の補助療法を行っていたが、死亡へと至った。
		対応	転倒転落による合併症のリスクを多職種で共有し、ケア内容の立案実施を行う。適宜状態変化時には、リスクの評価と共にケアの見直しを行う。

* 公表については個人情報保護に配慮した内容にしています。